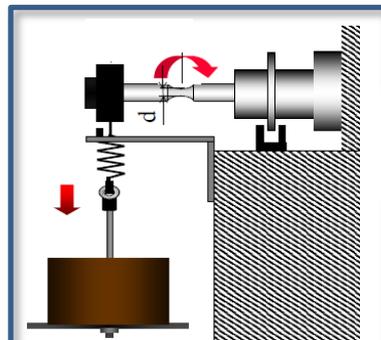


# ギガサイクル疲労試験機の紹介

**ギガサイクル疲労試験機**では、**短期間で疲労データ(SN線図)を取得**できます。

最大16本の試験片を同時に試験できることから、従来長期間を要していたギガサイクル(10の9乗回数:10億回の繰り返し)の試験データを効率よく**短期間で取得**できます(S-N線図の取得日数:468日⇒220日に短縮※など)。また付帯設備を組み合わせることにより、**腐食環境及び高温環境下での試験**のほか、試験中の**負荷荷重を変動**させることも可能です。

(※榊山本金属製作所カタログより)



- ・片持ち式回転曲げ疲労
- ・推奨試験片寸法:  
φ18-L160mm (d=φ6)

メーカー名: 榊山本金属製作所  
形式: YRB200L

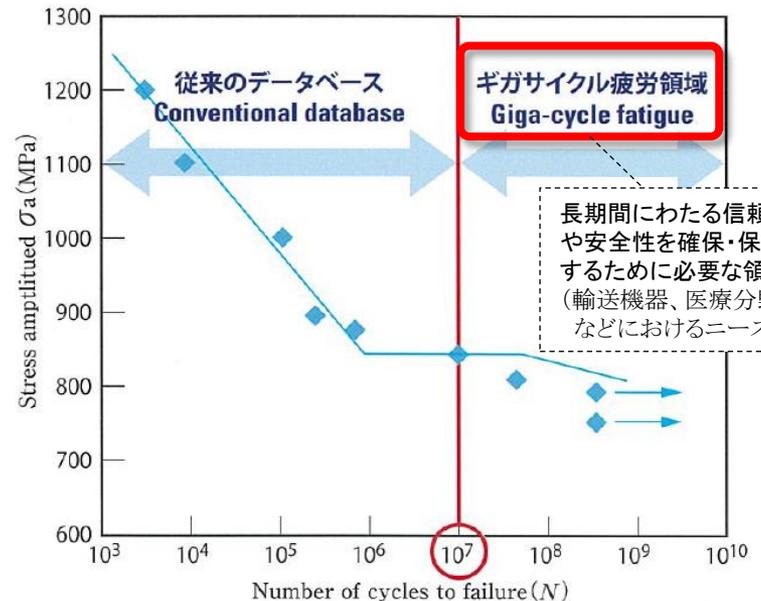


ギガサイクル疲労試験機  
(同時4連式疲労試験機×4ユニット)

## <主な仕様>

- 最大曲げ応力: 2,490MPa (推奨試験片寸法において)
- 回転速度: 1,000~4,000rpm
- 同時試験本数: 最大16本
- 試験環境: 大気(室温)、  
高温(100~600°C)、  
塩水滴下(最大2.2ml/min)

疲労データを短期間で取得!  
金属から樹脂まで対応!



長期間にわたる信頼性  
や安全性を確保・保証  
するために必要な領域  
(輸送機器、医療分野  
などにおけるニーズ)